

## 1. 趣旨

介護支援専門員を取り巻く環境は、急速な高齢化と少子化が進み、家族だけでは介護を支え切れなくなっている現在、地域包括ケアの構築や医療と介護の連携が急がれてきています。

私たち介護支援専門員は、利用者が自立した生活を営めるように日々介護保険制度の理念に基づき業務に勤めています。今大会では自己の尊厳や人々のつながり、支えあう事とはどういう事なのかを見つめ直し、これからのケアマネジメントの発展に繋げていきたいと考えています。

## 2. 大会テーマ

# 奈良からつながる和のケア ～人と暮らしを結ぶケアマネジメントの力～

## 3. 主催

特定非営利活動法人奈良県介護支援専門員協会・社団法人大阪介護支援専門員協会  
特定非営利活動法人和歌山県介護支援専門員協会・社団法人京都府介護支援専門員会  
一般社団法人兵庫県介護支援専門員協会・滋賀県介護支援専門員連絡協議会

## 4. 共催

一般社団法人日本介護支援専門員協会

## 5. 後援(予定)

奈良県・橿原市・一般社団法人日本介護支援専門員協会・奈良県医師会・社団法人奈良県病院協会・社団法人奈良県歯科医師会・社会福祉法人奈良県社会福祉協議会・奈良県国民健康保険団体連合会・奈良県老人福祉施設協議会・奈良県老人保健施設協議会・奈良県看護協会・社団法人奈良県薬剤師会・社団法人奈良県栄養士会・社団法人奈良県理学療法士会・奈良県作業療法士会・奈良県言語聴覚士会・一般社団法人奈良県社会福祉士会・一般社団法人奈良県介護福祉士会・社団法人奈良県柔道整復師会・社団法人奈良県鍼灸マッサージ師会・社団法人奈良県歯科衛生士会・奈良県市町村看護職員協議会・一般社団法人奈良県訪問看護ステーション協議会・社団法人日本福祉用具供給協会奈良ブロック(順不同)

## 6. 開催予定

平成25年2月16日(土)～2月17日(日)

## 7. 参加対象者

介護支援専門員、福祉・保健・医療関係者、行政機関関係者、その他

## 8. 参加予定数

700名(定員を超えた場合、参加をお断りすることがあります。)

## 9. 参加費

主催協会会員：8,000円、日本協会会員：8,000円、非会員：15,000円

※主催協会会員とは近畿各府県介護支援専門員協(議)会会員

※参加申込締切は平成25年1月11日(金)とさせていただきます。

※16日(土)18時より懇親会を開催いたします。

## 10. お問い合わせ先

特定非営利活動法人奈良県介護支援専門員協会

〒634-0063 奈良県橿原市久米町926番地 業業会館4階

FAX：0744-20-1071

MAIL：carenara@kcn.ne.jp

## 11. 会場

平成25年2月16日(土) 奈良県橿原文化会館 大ホール

奈良県橿原市北八木町3丁目65-5 TEL 0744-23-2771

平成25年2月17日(日) 奈良県社会福祉総合センター

奈良県橿原市大久保町320番11 TEL 0744-29-0111

## 12. 懇親会会場・懇親会費

日時：平成25年2月16日(土) 18:00～

会場：橿原ロイヤルホテル「ロイヤルホール」

〒634-0063 奈良県橿原市久米町652番地の2

TEL：0744-28-6636

懇親会費：8,000円(先着200名)

## 13. 日程

**第1日目** (平成25年2月16日) 奈良県橿原文化会館

12:00 受付開始

13:00 開会式 来賓、主催者挨拶

13:30 基調講演

「地域包括ケアの実現に向けて」

厚生労働省 老健局

14:25 休憩

14:30 記念講演

「地域に“寄りそ医”20年～地域住民と診療所医師の強くて温かい絆の物語～」

国民健康保険名田庄診療所 所長 中村伸一氏

15:25 休憩

15:30 特別講演

「コンサート&いのちのトーク」

やなせなな氏 シンガーソングライター。浄土真宗本願寺派僧侶(法名・釈妙華)

16:30 一般社団法人日本介護支援専門員協会 活動の紹介

17:00 移動

18:00 懇親会

会場：橿原ロイヤルホテル

## 第2日目 (平成25年2月17日) 奈良県社会福祉総合センター

- 9:00 受付開始(発表者集合時間)
- 9:30 分科会、シンポジウム開始

### 研究・実践事例発表分科会テーマ

1. 災害や緊急時対応におけるケアマネジャーの役割
2. 医療・リハビリテーションとのより良い連携を目指して
3. 多様な住まいにおける暮らしの変化 つなぐケアマネジャーの役割
4. 地域包括ケアと自立支援を考える
5. シンポジウム「認知症の人を支える町づくり」

- 12:00 分科会・シンポジウム終了
- 12:15 全体会、大会総括 閉会式
- 13:15 大会終了

### 記念講演

#### 中村伸一 氏

平成 元年 自治医科大学 卒業  
福井県立病院・診療部(スーパーローテイト研修)  
平成 3年 国保名田庄診療所 所長  
平成 8年 福井県立病院・外科  
平成10年 国保名田庄診療所 所長  
平成11年 あっほ〜むいきいき館 ジェネラルマネジャー  
平成12年 全国国保診療施設協議会 理事、自治医科大学地域医療学 臨床講師  
平成21年 自治医科大学地域医療学 臨床教授



### 【プロフィール】

平成元年に自治医科大学を卒業。平成3年に福井県庁からの派遣で旧名田庄村に赴任し、名田庄診療所に勤務。以降、後期研修2年間を除き、名田庄地区で唯一の医療機関の医師として地域医療に従事。保健・医療・福祉の連携で旧名田庄村の老人医療費や第1号介護保険料を福井県内で最も低いランクに抑えた。同地域の在宅死亡率は約4割であった。

平成21年、「プロフェッショナル仕事の流儀」(NHK)に出演。共同執筆した本邦初の地域医療の教科書「地域医療テキスト」(医学書院)を出版。「プロフェッショナル仕事の流儀コミック版-医療の現場に立つ者たち」(イーストプレス)を出版。平成22年、初の単著「自宅で大往生-「ええ人生やった」と言うために」(中公新書ラクレ)を刊行。平成23年、「寄りそ医-支えあう住民と医師の物語」(メディアファクトリー)を刊行。平成24年9月、「ドクター」(NHK-BSプレミアム)放映。

### 特別講演

#### やなせなな 氏

シンガーソングライター。浄土真宗本願寺派・教恩寺第六世住職(法名・釈妙華)。

1975年 奈良県の寺院に生まれる。  
1999年 龍谷大学文学部真宗学科卒。  
2004年5月 シングル「帰ろう。」でデビュー。その後4枚のシングルと、3枚のアルバム、自伝エッセイを発売し、FMラジオのDJや、エッセイスト、ニュース番組のコメンテーターとしても活躍する。



30歳で子宮体ガンを克服した経験と、尼僧という視点から、いのちを題材とした歌を数多く制作。やわらかくも芯のある歌声が持ち味。「大人のための癒しの音楽」は、中高年を中心とした幅広い層から確かな支持を獲得している。

現在は、郷里である寺院での法務の傍ら、全国各地での音楽活動を行っている。中でも、宗派を越えた仏教系寺院でのコンサート&トーク「歌う尼さん」は、感動の涙を流す観客の口コミによって全国に広がり、のべ250回を超える公演を成功させている。昨今ではその地道な活動が注目され、2011年3月には、日本テレビNNNDドキュメント11「歌う尼さん〜がん闘病から奏でる命」として全国に放映され、大きな反響を呼んだ。東日本大震災以降は、被災地支援活動にも精力的に取り組んでいる。その活躍が認められ、母校・龍谷大学校友会より龍谷奨励賞を授与された。  
【やなせななオフィシャルサイト】<http://www.yanasenana.net/>

### 【活動実績】

〈CD発売〉シングル…「帰ろう。」(2004年)、『街の灯』(2004年)、『蝶々/七夕』(2007年)、『まけないタオル〜東日本大震災復興支援歌』(2011年)、『ひとつの心』(2012年) アルバム…『あいのうた』(2005年)、『遠い約束』(2007年)、『願い』(2009年)  
〈CMソング〉三晃空調企業イメージCM(2004年〜)、滋賀県人権啓発CM(2007年度)、日本珠算連盟CM(2009年)、曹洞宗東北管区教化センター(2011年)  
〈ゲーム主題歌〉NintendoDSソフト「東京魔人學園剣風帖」(エンディングテーマにオリジナル曲「七夕」が起用される。2008年8月発売)  
〈ラジオレギュラー〉Date fm(エフエム仙台)「やなせなな はじまりの日」(2012年7月〜)、ならどっとFM「やなせななの夜空メロディ」(2007年〜2009年)  
※その他、NHK「宗教の時間」を始め、地方各地のAM、FMラジオ局にゲスト出演。

〈雑誌連載〉音楽誌「音遊人」(YAMAHA刊)「やなせななのひだまりの唄」(エッセイ、2006年〜)  
〈書籍出版〉自伝エッセイ「歌う。尼さん」(遊タイム出版)(2010年)  
〈仏教系映像出演〉●仏教コスモロジー「須弥山と極楽」(2007年、浄土真宗本願寺派制作) 講師:定方屋(東海大学名誉教授)、ナビゲーター:やなせなな ●「向き合う 東日本大震災」(2012年、曹洞宗東北管区教化センター)震災物故者一周忌追悼法要の記録DVDエンディングに「春の雪」(作詞・作曲:やなせなな)が起用される。

〈テレビ放送〉日本テレビ NNNDドキュメント11「歌う尼さん〜がん闘病から奏でる命」(2011年)、テレビ東京 ミニドキュメント「生きるを伝える」(2011年)  
〈テレビ出演〉読売テレビ「かんさい情報ネットten!」準レギュラーコメンテーター(2010年〜2011年)  
〈連続講座〉佛教学 四糸センター「歌う尼さん いのちを見つめるひととき」(2012年7月〜)

## 13. 分科会概要

### 分科会趣旨

介護保険制度改正がおこなわれ、地域包括システムの構築や医療と介護の連携が急がれています。そのような中で、私たち介護支援専門員はどのような役割を担わなければならないのか、この分科会で介護支援専門員の役割を探求したいと思います。

### 第1 分科会 災害や緊急時対応におけるケアマネジャーの役割

平成7年1月17日「阪神淡路大震災」、平成23年3月11日に東日本大震災、また同年9月には台風12号により和歌山県や奈良県などにおいても尊い人命が失われる大災害が発生しました。現地ではケアマネジャーが、医療や看護、行政などの連携により、被災者の生活再建に大きな役割を果たしていたことが知られています。今後、地震などの災害が発生したとき、要介護者に対してケアマネジャーはどのように関わり、活動すればよいのか。また防災をはじめとして何を準備すればよいのか。当分科会では、ハザードマップの作成や緊急時対応の基本的な考え方や実施方法、行政防災担当窓口や地域包括支援センター等との連携のあり方など、ケアマネジャーが果たすべき役割について研究します。

キーワード ●ハザードマップ ●計画停電 ●24時間対応 ●緊急時対応 ●関係機関との情報交換 ●帰宅困難時の対応の取り組み ●リスクマネジメント ●防災対策

### 第2 分科会 医療・リハビリテーションとのより良い連携を目指して

誰もが住み慣れた地域で、自分らしく老いることのできる社会の実現をめざして地域包括ケアシステムの構築が急がれています。私たち介護支援専門員の仕事は、様々な職種の方々と連携して、ご利用者様のより良い在宅生活を支えるということですが、そのためには、病気のコントロールと生活機能の維持・向上ということが非常に重要になります。この分科会では、医療・リハビリテーションとのより良い連携のあり方について共に考えたいと思います。

キーワード ●ターミナルケア ●主治医との連携 ●チームケア ●地域の力 ●リハビリテーション ●退院時ケアマネジメント

### 第3 分科会 「多様な住まいにおける暮らしの変化 つなぐケアマネジャーの役割」～ケアマネジャーのつなぐ機能を検証する～

高齢者を取り巻く住まいの多様化は、高齢者住まい法の改正により「安心・安全」と「自立」を謳い国家戦略として動き出しています。また、介護保険制度でも小規模多機能、認知症対応型共同生活介護、特定入居者生活介護、複合型サービス、介護保険施設等その方に相応しい住まいのあり方に応えるマネジメントが求められています。介護支援専門員にとっては相反する「安心・安全」と「自立」をどう両立し、その方に相応しい住まいのあり方や、継ぎ目の無い住まいの提供(住まい換え)とリンクさせる事ができるかについて、今後のあるべき将来像について検証いたします。

参加型分科会

### 第4 分科会 地域包括ケアと自立支援を考える

「自立した日常生活の実現」を支援するためには、保健・福祉・医療等の専門職による相互連携はもとより、多様化するニーズに対し、地域における社会資源の開発やネットワークの構築が重要となります。そのためには、地域包括ケア体制の推進と、包括的・継続的ケアマネジメントの実践が必要です。私たち介護支援専門員は、利用者の視点に立ち、地域包括ケアの中核となるべく様々な事例研究を通して考察を深めます。

キーワード ●個別性 ●地域包括支援センター ●社会資源 ●ネットワーク ●自立支援 ●地域ケア会議 ●地域づくり ●主任CM ●CMの自覚

### 第5 シンポジウム 認知症の人を支える町づくり

認知症の方とその家族が地域で安心して暮らすためには何が必要か、私たち介護支援専門員に求められるものとは…。コーディネーターに敦賀温泉病院の玉井顯氏をお迎えし、これまで玉井氏が行ってきた認知症ケアの実践と町ぐるみの連携について学ぶとともに、3名のパネリストのそれぞれの立場からの意見を聞きながら、地域包括ケアシステムの中での認知症ケアはどうあるべきかを深めていきます。

コーディネーター： (医)敦賀温泉病院 理事長 玉井 顯氏  
パネリスト： 「家族の立場から」  
「認知症コーディネーターの立場から」  
「介護支援専門員の立場から」

コーディネーター講演「これからの認知症ケアとケアマネジャーの役割(仮)」

【玉井 顯(タマイ アキラ)氏プロフィール】昭和29年2月7日生(58歳)

1979年 3月 金沢医科大学病院 神経科精神科 講師	1998年 11月 若狭町に介護老人保健施設ゆなみを開設
1986年 9月 精神保健指定医 取得	2000年 4月 日本老年精神医学会専門医・指導医 認定
1989年 7月 医学博士学位 取得	2006年 4月 日本精神神経学会精神科専門医・指導医 認定
1990年 4月 理事長・院長として敦賀温泉病院を開設	2009年 4月 認知症疾患医療センターの指定を受ける
1994年 4月 老人性痴呆疾患センターの指定を受ける	

〈学会並びに社会における活動等〉  
日本神経心理学学会(評議員)、日本高次脳機能障害学会(評議員)、日本老年精神医学会(評議員)  
日本精神神経学会、日本神経学会、日本認知症学会  
福井医科大学 神経科精神科 非常勤講師、金沢医科大学 神経科精神科 非常勤講師  
福井医療技術専門学校 言語療法学科 非常勤講師  
社会福祉法人敦賀市社会福祉事業団精神薄弱者更生施設やまびこ園 囃子師  
社会福祉法人 二州青松の郷 精神障害者通所授産施設ひまわりの家 囃子師  
福井県認知症理解普及促進事業運営委員会 委員長、敦賀市医師会在宅医療・介護対策委員会 委員長  
認知症になっても安心して暮らせる町づくり100人会議 専門協力員  
在宅・長寿の我がまちづくりモデル検討委員会(厚生労働省補助金事業・(財)国土技術研究センター・地域ケアネットワーク)委員  
日本精神科病院協会 政策委員会 委員、認知症ケアモデルに関する研究会 委員



## ケアマネジメント・介護支援専門員 研究・実践事例発表の募集について

大会第2日目において、ケアマネジメント・介護支援専門員関係の研究・実践事例発表者を募集します。発表時間は一人8分です。この分科会の全体を通してのサブテーマは「私たちに求められる介護支援専門員の役割」です。

活発なディスカッションのできる分科会にしたいと考えていますので、よろしくお願いたします。なお、学術研究・実践事例発表は平成25年2月17日(日)午前中となります。

### 1. 研究・実践事例分科会演題募集テーマ

第1分科会	災害や緊急時対応におけるケアマネジャーの役割
第2分科会	医療・リハビリテーションとのより良い連携を目指して
第3分科会	「多様な住まいにおける暮らしの変化 つながるケアマネジャーの役割」 ～ケアマネジャーのつなぐ機能を検証する～
第4分科会	地域包括ケアと自立支援を考える

### 2. 発表申し込み資格

発表者は、近畿介護支援専門員協(議)会の会員

### 3. 発表申し込み締切

発表申込締切日: 平成24年11月30日(金) 抄録締切日: 平成24年12月7日(金)

### 4. 抄録原稿作成要領

下記の様式を抄録原稿の頭部につけて提出してください。

《様式例》	発表テーマ	〇〇におけるケアマネジメント実践の効果と課題について ～〇〇氏の事例から考察する～
《都道府県名》	〇〇県	(所属先等の名称)〇〇〇〇事業所 (職種・職名等)介護支援専門員 (筆頭演者の氏名)奈良 太郎
※共同研究の場合は、筆頭演者の後に共著者名(所属先、職種・職名)を記載してください。		

#### 1) 抄録原稿は原則として、1演題につきA4サイズ2枚までとします。

(ただし、図表が含まれる場合は、4枚まで可)

上記の様式を抄録原稿の頭部につけ、発表申込書にあるE-mailアドレスに添付してお送りください。抄録は、必ず「Microsoft Office Word 2003・2007・2010のバージョン」で作成してください。一太郎等、他のワープロソフトで作成されたものや手書きの抄録原稿は受付ませんので、ご注意ください。

なお、締切を過ぎた受付はいたしませんので、予めご了承ください。

抄録原稿提出先: [carenara@kcn.ne.jp](mailto:carenara@kcn.ne.jp)

#### 2) 書き方

- 「演題名」は16ポイントのMS明朝体で、最上段の第一行目から2行目のほぼ中央部を使用し、副題がある場合は、行を改めてください。
- 「氏名等」は、11ポイントのMS明朝体で第4行目から5行目ほぼ中央部を使用してください。共同研究者が口頭発表者となる場合は、最初に○印をつけ口頭発表者名を書いてください。
- 「本文」は第7行目の左から「目的」「方法」「結果」「考察」「結論」および「文献」などの見出しを必ず付けてください。活字の大きさは10.5ポイントのMS明朝体で2段組にし、図表や写真も含めて必ず枠内に収めてください。
- 図表および写真のタイトルは、図・写真が下、表が上で大きさに注意して作成してください。

#### 3) 注意事項

- 業務の内容を逸脱せず、倫理的に正しい内容にしてください。
- なお、事例に関する個人情報の保護・人権擁護につきましては、同意書を添付してください。個人情報の保護・人権擁護につきましては発表者が十分ご配慮くださいますようお願いいたします。
- 「目的」は、必ず作業仮説(なぜこの研究を行うのか、どのような症例や手段を使うのか)を書き、「方法」は内容を具体的に記し、追試が可能であり、「結果」では調査結果を明確にし、多数例では統計的処理を行ってください。また、考察はこの研究のどの部分が、どの程度社会に役立ち(意義があり)、新しい発見であるのか、他人の考え(文献)と比べてどこが違うのかを述べ、「文献」は本文に引用したものだけを記載してください。
- 本文中に「スライド番号」を記載しないでください。
- 文体は「である調」で作成し、謝辞は不要です。
- 査読の結果、変更・修正をお願いすることもありますので、ご了承ください。
- 原稿などは、発表の有無にかかわらず返却できませんので、ご了承ください。

### 5. 発表の際の留意事項

今大会では発表の際、写真スライド・OHP・VTRは使用できません。プロジェクターとPCのみ準備いたします。

また、発表していただく分科会は、テーマ、内容、応募者数により変更させていただくこと、また応募多数の場合は、お断りすることもありますのであらかじめご了承ください。

発表にあたっては、大会参加の申込が必要となります。別途、HP等より参加申込の手続きをお願いします。

なお、発表の可否及び発表に関する詳細については、お申込書にお書きいただいたE-mailアドレスへご連絡させていただきます。

### 6. 発表申し込み先

#### 特定非営利活動法人奈良県介護支援専門員協会

〒634-0063 奈良県橿原市久米町926番地 業業会館4階

FAX: 0744-20-1071

MAIL: [carenara@kcn.ne.jp](mailto:carenara@kcn.ne.jp)

### 7. 申し込み方法

P.7(次ページ)の申込書に必要事項をご記入の上、平成24年11月30日(金)までに、上記発表申込先へ、E-mailもしくはFAXにてお申込みください。

### 8. その他

査読の結果、演題が多数の場合は、演題発表には限りがありますので抄録発表に代えさせていただく場合がございます。ご了承いただけますようお願い申し上げます。

第12回近畿介護支援専門員研究大会 奈良大会

ケアマネジメント・介護支援専門員 研究・実践事例発表申込書

申し込み先：大会事務局 担当：西田

MAIL : carenara@kcn.ne.jp FAX : 0744-20-1071

下記申込書にご記入の上、平成24年11月30日(金)までに、FAX もしくは電子メールに貼付してお送りください。  
(できるだけ電子メールに貼付してお送りください。)

ケアマネジメント・介護支援専門員 研究・実践事例発表申込書		
フリガナ		
氏名		
フリガナ		
住所	〒	
連絡先	TEL	FAX
	携帯電話番号	
E-mail(*必須)		
希望発表分科会番号	会員所属	府県会員番号
分科会	府・県 会員	
発表テーマ・サブテーマ・発表者(所属)		
大会参加費は 平成 年 月 日に 支払いの手続きをいたしました		

記載された情報は、研究発表管理以外の用途には使用いたしません。

この度「第12回近畿介護支援専門員研究大会奈良大会」が奈良県橿原市において開催されますことを心よりお祝い申し上げます。  
各地よりご参加されます皆様を当地にお迎えするにあたり、私ども株式会社日本旅行が参加登録、懇親会、宿泊申込み等のお世話をさせていただきますこととなりました。つきましては下記のとおりご案内させていただきます。

1. お申込方法・お支払方法

＝ お申込みはインターネット又はFAXにてお願いいたします ＝  
[https://v3.apollon.nta.co.jp/kinkikaigo\\_2013/](https://v3.apollon.nta.co.jp/kinkikaigo_2013/)  
FAX : 0742-27-3274

1)インターネットWEBからのお申込み

お申込方法: 上記URLよりお申込みください。

お支払方法: ①銀行振込 お支払ページに表示されている請求額をご指定口座へお振込みください。

②クレジット決済 クレジットカード情報を入力して頂きますと、30秒程度でお支払が完了いたします。

2)FAXでのお申込み

お申込方法: 別紙申込用紙に必要事項をご記入の上、FAX又は郵送にてお申込みください。

お支払方法: ①銀行振込 申込受付後、請求書を郵送いたします。指定の期日までにお振込みください。

②クレジット決済 申込用紙にクレジットカード情報をご記入ください。予約確認書と決済控えを送付いたします。

2. お申込・お支払締切日

平成25年 1月11日(金)

3. 参加証等の送付

大会参加証につきましては、大会10日前頃までに申込代表者宛てに送付いたします。

4. 大会参加・懇親会のご案内

1)大会参加費

主催協会会員：8,000円、日本協会会員：8,000円、非会員：15,000円

※上記参加費は、「第12回近畿介護支援専門員研究大会 奈良大会」の両日参加費となります。

2)懇親会

日 時: 平成25年2月16日(土) 18:00～

会 場: 橿原ロイヤルホテル ロイヤルホール

懇親会費: 8,000円(先着200名)

※当日は奈良ならではのアトラクションも予定しております。皆様お誘い合わせの上、ご参加ください。

3)取消料について

大会参加費: お申込後、既にお振込みされました参加費の払い戻しは行いません。

懇親会費: 平成25年1月31日(木)17:00以降の取消については、100%の取消料を申し受けます。

## 5. 宿泊プランのご案内

- 宿泊設定期間：平成25年2月15日(金)・16日(土)・17日(日) 3泊
- 宿泊料金：1泊朝食付き、税・サービス料込みの一人様料金

ホテル名	宿泊料金		申込記号		会場へのアクセス ホテル⇄主要駅への移動時間	地図 番号
	シングル	ツイン	シングル	ツイン		
榎原ロイヤルホテル 【懇親会会場】	¥12,000	¥9,000	1-S	1-T	1日目会場へ近鉄電車10分 榎原神宮前駅から徒歩2分	①
大和榎原シティホテル 【1日目会場徒歩圏内】	¥9,000	¥8,000	2-S	2-T	1日目会場へ徒歩10分 大和八木駅から徒歩5分	②
榎原オークホテル 【榎原神宮前地区】	¥9,000	¥7,000	3-S	3-T	1日目会場へ近鉄電車10分 榎原神宮前駅から徒歩5分	③
榎原タウンホテル 【八木地区】	¥7,500	設定なし	4-S	設定なし	1日目会場へ徒歩15分 八木西口駅から徒歩5分	④

### 会場の最寄駅

- 奈良県榎原文化会館 (1日目)  
最寄駅：近鉄大阪線・榎原線大和八木駅東へ徒歩約5分
- 奈良県福祉総合センター  
最寄駅：近鉄榎原線畝傍御陵前駅北へ徒歩約3分

### 宿泊プラン取消料について

宿泊開始の10日前まで	9日から4日前まで	3日から2日前まで	前日	当日・不泊
無料	宿泊料金の20%	宿泊料金の30%	宿泊料金の50%	100%

## 6. 会場周辺図(宿泊利用施設マップ)

会場(★)  
奈良県榎原文化会館 大ホール  
奈良県榎原市北八木町3丁目65-5  
TEL：0744-23-2771

奈良県社会福祉総合センター  
奈良県榎原市大久保町320番11  
TEL：0744-29-0111



## 7. 大会参加・懇親会・宿泊等のお申込みについてのお問合わせ先

株式会社 日本旅行 TiS奈良支店  
〒630-8122 奈良市三条本町1-1 JR奈良駅構内  
TEL：(0742)26-7225 FAX：(0742)27-3274 E-mail：nara\_office@nta.co.jp  
営業時間：10:00～18:00(土・日・祝祭日は休業) 担当者：吉村・高田・三上

# 第12回 近畿介護支援専門員研究大会奈良大会

大会参加・分科会  
懇親会・宿泊  
申込書

申込書送信先FAX:(0742)27-3274  
申込締切日:平成25年1月11日(金)

都道府県	申込日	月	日
( )	連絡先	TEL	FAX
申込代表者名(フリガナ)	書類送付先住所	<input type="checkbox"/> 自宅	<input type="checkbox"/> 所屬先
	〒		

No	フリガナ 参加者氏名	所属先	参加種別		分科会(分科会番号)		懇親会	宿泊日			希望ホテル記号			フリガナ 同室者名
			1. 会員 2. 非会員	会員番号	第1希望	第2希望		2/15(金)	2/16(土)	2/17(日)	第1希望	第2希望	第3希望	
例	ナラ タロウ 奈良太郎	*** 介護専門員協会	1	12000***	1	5	○	○	○	X	○	○	○	ナラ ハナコ 奈良花子
1														
2														
3														
4														
5														

【ご記入の際の注意事項】  
※ 会員の方は、会員番号をお忘れなくご記入ください。  
※ 5名様以上のお申込に際しては、お手数ですがコピーにてご対応をお願いいたします。

【お問合せ先】株式会社 日本旅行 TiS奈良支店 大会デスク  
〒630-8122 奈良市三条本町1-1 JR奈良駅構内  
TEL：(0742)26-7225 FAX：(0742)27-3274  
営業時間：10:00～18:00(土・日・祝祭日休業) 担当者：吉村・高田・三上

お支払方法  銀行振込  クレジットカード

① 銀行振込をご希望のお客様は、ご請求書を送後日ご郵送いたします。  
② クレジットカードご記入のお客様は、お引渡し後、予約確認書と決済控えを後日ご郵送いたします。

カード種類  JCB  VISA  DC  AMEX  DINERS  MASTER

カード番号

有効期限 年 月 日

ご署名

【ご返金先口座】お支払が銀行振込の場合のみご記入下さい。(変更・取消等の返金先)

銀行名	支店名	支店番号	口座名義名
銀行	支店	普通・当座	

その他(手話通訳の必要な方、車椅子ご利用等の特別な配慮を必要とされる方はその旨お書き下さい。)